

仕 様 書

1. 保守点検の目的

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府国際がんセンターが保有する滅菌管理システムを常に正常な状態で作動することを目的とする。

2. システム名

鋼製器具管理 システム「SURGICAL BRAIN SYSTEM」(以下、「SBS システム」という。)

3. 履行期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

4. 物品設置場所

大阪市中心区大手前3-1-69

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター4階中央滅菌室

5. 物品明細

SBS システム明細については第5項に構成品、数量を記載する。

6. 保守点検業務

(1) 点検の実施

履行期間中に下記点検内容の項目を実施することとする。

(2) 点検内容

下記項目について点検を行うこと。

(保守履行期間内に1ヵ月に1回確認を行う項目)

① SBS サーバー 1台

点検確認用 LED の確認によるサーバー正常稼働状態の確認

② クライアント PC 8台

サーバー側からのネットワーク導通確認

③ ラベルプリンタ 2台

正常印刷状態の確認

④ 2次元リーダー 6台

起動・正常動作の確認

⑤ ハンディターミナル 17台

サーバー側からのネットワーク導通確認

⑥ レーザープリンタ 5台

印刷状態の確認

⑦ RFID ゲート

サーバー側からのネットワーク導通確認

(3) 保守バージョンアップ

SBS システムに含まれるソフトウェアの機能追加及びバグフィックスを行った際は適宜バージョンアップを実施するものとする。

(4) 運用サポート

祝日を除く月曜から土曜までの9時から 17時30分の期間で以下の対応を行うものとする。

- ① 電話、FAX、電子メールなどによる運用質問の対応
- ② リモート回線による不具合情報の収集、修正
- ③ 月1回での運用に関する連絡会議
- ④ 重要度に応じた翌日のオンサイト対応
- ⑤ 年間250本の鋼製器具への刻印対応

(5) ウイルス対策ソフト等の導入

SBS システムのサーバー及び各クライアント端末にウイルス対策ソフトを導入する等、適切な対策を施すこと。なお、それに必要な費用は全て受注者の負担とする。

7. 報告書の提出

受注者は保守業務完了後、速やかに報告書を作成し、当センター担当者の確認を受け提出するものとする。

8. 個人情報の保護

受注者は業務上知り得た情報を第三者に漏らしたり、他の目的に使用してはならない。

9. セキュリティ

メンテナンス時にファームウェアのアップデートが可能な場合は行い、医療情報部へ詳細情報を報告すること。

10. その他

本仕様書に定めない事項については、その都度発注者及び受注者で協議し決定する。